

♥ノルディックウォーキング スタジアム観覧コース開催♥



7月20日(火)健康づくりプロジェクトとして、第1回目のノルディックウォーキングを開催しました。当日は、猛暑日となりましたが、参加者17名で体調不良者もなく無事にスタジアム観覧ツアーを楽しみました。スタジアムでは、林選手への応援メッセージの贈呈が行われており、オリンピックを身近に感じ、ロッカールームでは前日の試合の名前が入ったままのロッカーに大興奮しました。最後にサガン鳥栖のエンブレムの前で記念に残る一枚。笑顔溢れる時間を過ごしました。がんばれサガン鳥栖！！

第2回目のノルディックウォーキングは、9月27日(月)は、鳥栖北地区三社(八坂神社・水影天神社・船底神社)巡りを予定しています。みなさんのご参加お待ちしております。

青少年育成会事業【鳥栖探検隊part 1】



8月3日(火)北小4年生~6年生の7名が、鳥栖駅構内とスタジアムを目指して出発しました。~いまも残る鳥栖駅の歴史遺産~明治建築の面影を色濃く残す正面玄関の建築様式について、ボランティアガイド元気隊の外尾隊長さんの説明があり、鳥栖駅構内探索マップを片手に、ホーム駅舎の写真やパネル展示等を見て回りました。その後は、虹の橋を渡り、市報掲載で話題のゾンビランドサガのマンホールも発見しました。スタジアムではロッカールームや貴賓室にも入り、鳥栖の魅力を経験でき子ども達は大喜びでした！楽しい夏休みの一日となりました。

鳥栖山笠の山車（6基）の展示のみ開催しました！



～鳥栖山笠の紹介と由来～

鳥栖の夏を彩る祭り「鳥栖山笠」は博多祇園山笠にならい昭和3年に八坂神社の祇園祭として始まったと伝えられ、そろいの法被に身を包んだ締め込み姿の男衆が、勇壮な山笠を引き回しながら街中を練り歩きます。引き手は、八坂神社の氏子である本通町、本町、中央区、京町、秋葉町、東町の6町区の人々です。現在では、夏休みの最初の土日に催され、鳥栖市の夏の風物詩となっています。7月17日（土）鳥栖山笠は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、山車（6基）の展示のみ開催しました。

「みんなの想火 i n T O S U」 宿町参加！



7月22日（木）東京オリンピック開会式前夜に「循環するアート『竹あかり』」を通して循環の輪を広げよう」をテーマに、「みんなの想火 i n T O S U」が開催されました。

宿町も竹灯籠を出品され、20時30分に全国一斉に点灯式が行われました。

本鳥栖町 輪くぐり願成就！



本鳥栖町の水影天神社で8月1日「夏越し」の祭りがありました。高さ1.8メートルほどの輪の中をくぐり抜けることで身を清め、無病息災を願い夏を元気に乗り越えようとする祭りで、毎夏の同日に行われています。神事後、地元の人たちが素足になり、宮司から榊と水でみそぎを受けて茅の輪をくぐり、社殿を一周する行為を3回繰り返します。本行事は「輪くぐり願成就」（わくぐりがんじょうじゅ）と呼ばれています。